

## 1-6 気象概況

年 月	降 水 量 (mm)				気 温 (°C)					風 向・風 速 (m/s)					日照時間 (h)
	合 計	日最大	最大		平 均			最 高	最 低	平均風速	最大風速		最大瞬間風速		
			1時間	10分間	日平均	日最高	日最低				風 速	風 向	風 速	風 向	
平成26年	1,856.0	167.0	44.5	12.0	16.6	21.5	12.6	37.7	-2.9	2.3	10.6	北	18.9	北	1865.3
27	2,063.0	103.5	69.5	20.0	17.1	21.9	13.2	38.5	-2.9	2.2	13.1	北北東	26.0	北北東	1874.4
28	2,451.5	190.5	47.5	17.0	17.8	22.7	13.9	38.0	-6.5	2.2	10.7	南南西	19.7	南南西	1707.1]
29	1,678.5	138.5	58.5	21.5	16.9	21.9	12.8	37.7	-3.6	2.1	11.0	南	19.9	北東	2081.0
30	1,900.0	277.0	49.5	15.5	17.4	22.4	13.2	39.5	-3.8	2.2	13.1	南	23.6	南南西	2139.0
令和元年	2,154.0	323.5	90.0	22.5	17.6	22.6	13.5	38.4	-1.1	2.1	20.0	南	32.4	南	2001.4
2	2,779.0	271.0	92.5	21.0	17.5	22.5	13.3	37.8	-2.0	2.2	15.5	南南東	29.9	南	2102.9
3	2,396.5	294.0	72.0	20.0	17.8	23.1	13.6	37.2	-5.0	2.2	15.5	南	25.5	南	1711.8]
4	1,617.5	184.5	63.0	19.5	17.5	22.7	13.4	37.9	-2.8	2.2	12.2	南	22.9	南	2116.5
5	2,003.5	205.5	65.0	19.5	17.9	23.1	13.7	38.2	-4.2	2.0	11.6	南南東	20.8	南南東	2039.7
【 内 訳 】															
令和5年1月	75.0	29.5	11.5	4.5	5.9	10.8	1.8	19.1	-4.2	1.7	8.8	西北西	16.5	西	145.8
2	65.0	19.5	8.5	4.0	8.2	13.3	4.0	18.5	0.3	2.3	7.0	北北東	12.2	南南西	131.1
3	116.0	33.0	12.5	5.5	13.1	19.1	8.0	25.6	0.3	2.1	6.5	南南西	12.5	南南西	195.4
4	208.5	66.0	13.5	5.5	16.5	22.0	11.6	29.6	5.3	2.3	7.2	北北東	14.6	南南西	199.0
5	253.5	69.5	16.0	5.0	20.4	26.2	15.6	32.2	9.4	2.1	6.9	北	13.2	北北東	190.2
6	332.5	143.0	21.5	10.0	24.3	29.1	20.9	34.2	16.4	2.0	7.0	南南西	14.9	南南西	122.7
7	689.5	205.5	65.0	19.5	28.3	32.9	25.0	37.7	21.0	2.5	7.4	南南西	14.5	南	150.6
8	94.0	41.5	25.0	7.5	29.6	35.1	26.2	38.2	24.8	2.4	11.6	南南東	20.8	南南東	208.3
9	63.5	17.5	8.5	5.0	26.9	31.9	23.5	36.3	20.7	2.0	6.8	南	13.4	南	177.3
10	28.0	22.5	3.0	1.5	18.9	24.7	14.2	29.1	9.2	2.0	6.2	北	11.6	北北東	217.7
11	45.0	17.5	14.0	11.0	13.8	19.5	9.0	29.6	3.6	1.6	7.0	南	13.7	南	184.4
12	33.0)	12.5)	6.5)	3.0)	8.7)	13.0)	5.0)	23.0)	-1.7)	1.5)	7.6)	南南西	16.3)	南南西	117.2

資料：気象庁HP「過去の気象データ検索」

※この表は、地域気象観測所（北緯33度18.2分、東経130度29.6分、海拔7m、久留米市津福本町）における観測値である。

※掲載している気象データは、過去にさかのぼって修正される場合がある。

※数値に関する記号の説明について、以下のとおり気象庁HP「過去の気象データ検索＞利用される方へ」より説明文を抜粋する。

「)」：統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱います（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

「]」：統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています（資料不足値）。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があります。